
小さな翼

龍二4

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

小さな翼

【Zコード】

Z4302P

【作者名】

龍一4

【あらすじ】

あるサッカー好き少年 一富 渉 が「サッカーチーム

小さな翼 に入り

いろいろな強敵とサッカーをしていき

渉自身が成長していく感じの小説です

第1ゲーム サッカーやるつー！

この町の公園には子供たちの声があふれていた
どうやらサッカーの練習をやっているようだつた
その公園の前を通りかかつた9歳ぐらいの少年が公園の中に入つて
いった

「サツナリ僕にも入れてよ！」

少年は走りながら言いた

おい、ここは遊び場ないんだぞ。帰るが帰るが

大人の人が二つちこ向かつて歩ひてくる

「おまえのチームの「= みたいだ

「君何年生？」

「僕？僕3年生！」

大声で少年は言つた

キャラテンらしい人はクスッリと笑つた

「チビは帰りなー！」こは5年からだぜ！

「うひー海芋くんそんな」とお詫びではだめだよ

海津五郷で笑ひあつたが、その西に立派にた

卷之六

卷之三

「新編一統書」卷之三

「リチウム電池」と書く

「少しサッカー やらうか」

「おじさんいの！？」

「うん ねじれんじつこじあて

「おつがとう」

涉はコーチの後ろについて歩いて行つた

コーチがゴール付近で止まると言んだ

「宇山 亮太 こっちに来なさい」

「はい！」

そう大きな声で言つたのは5年生ぐらいの少年だつた
手にはゴールキーパー用の手袋をはめていた

どうやらゴールキーパーのようだ

「涉君この亮太君はゴールキーパーだから君の実力がどれほどか見
るためにPKしてくれるかな？」

「うん！」

亮太はゴール前に立つと言つた

「涉君打つていいよ」

ボールと亮太を交互に見た

涉は走り出した

走り出したのと同時に亮太は構えた
涉が力いっぱいボールを蹴つた

第1ゲーム サッカーヤハツー（後書き）

感想などしてくれたら超うれしいですーー！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4302p/>

小さな翼

2010年12月11日15時29分発行